

3.1

令和4年度 研究推進計画

1. 研究主題

全ての生徒がつながり、学びあう授業づくり

～小集団の活用に重点をおいた教師による生徒のつなぎ方の研究～

2. 研究主題設定の理由

昨年度の授業評価アンケートの「あなたは、よく聴き、考え、学び合っていますか」の項目について、肯定的に回答している生徒の割合が90%を超えており、どの学級においても学びあう姿が見られている。一方で、グループとのつながりを持つことに苦手意識をもち、学びあうことに困難さを感じている生徒も見られる現状がある。

そこで、本校研究の柱である「学びの共同体」理論に基づいた、グループで学びあうための教師の効果的な支援(全体やグループ内の生徒をつなぐ)を通じて、全ての生徒が学びに参加し、夢中になって学ぶ授業づくりを目指す。

3. 研究推進のための取組み

(1) 本年度の各学期における重点目標

- | |
|---|
| 1学期:全ての生徒が学びに参加するための教師によるグループ内の生徒のつなぎ方の研究 |
| 2学期:全体共有を活かした学級全体の生徒のつなぎ方の研究 |
| 3学期:生徒が深く学ぶための教師による生徒のつなぎ方やもし方の研究 |

(2) 学びと心の育成部会

より質の高い研究活動を全校体制で推進するために、学びと心の育成部会を組織する。年間を通して隔週で開催する。

メンバー:主幹教諭、研究主任、各学年代表、人権教育主任、道徳推進担当教師で構成

(3) 本年度の具体的な取組み

研究主題に迫るために、学びと心の育成部会がリーダーシップを発揮して、以下に掲げる取組みを行う。

① 学びあい学習の理論深化と課題のあり方の研究

学びあい学習にかかわる理論を深化させ、授業実践の基礎となる「つながり、学びあえる」課題のあり方を研究する。

⇒ 研究部が24年度に作成し、25・26年度に改定した「学びあい学習スタンダードbook(授業者用資料)」を活用した研修や本校の実践記録に基づいた研修の実施

② 年間を通じた研修活動

ア 校内研修

(ア) 研修職員会

授業づくりに関する方法の確認や授業の視点をそろえるため、年度当初等必要な時期に行う。

(イ) 全校授業研(年間3回開催)

公開授業とは別に本校のみの教員で研修し、授業力向上のための自己研鑽を行う。本校は教員数が少なく、学年団のみの研修では深まらないことも考えられるため、全校での授業研とする。授業者だけでなく全教員で「つながり、学び合える」課題について協議し、教科の垣根を越えて意見交流をすることで、授業者・参観者の授業改善につながるものを目指す。

(ウ) 提案授業(全校授業研に含む)

授業づくりに関する方法の確認や「学びあい」の授業づくりのイメージを持つため、年度当初に行う。

イ 公開授業研究会(年間3回開催)

午後の公開研究授業(1クラス)だけでなく、2・3・4時間目を活用して全クラス・全授業者の授業を公開する。また、保護者や地域等へも門戸を開き、地域への学びあい学習の浸透を目指す。また、スーパーバイザー深沢幹彦先生(元熱海市立多賀中学校長・「学びの共同体」研究会)に指導・助言をしていただき、授業力向上に取り組む。

ウ 授業参観 WEEK

各学期に1度、授業者が各々の「学びあい」のポイントを重視した授業を参観し合う期間を設定する。参観者の振り返りを通じて、「学びあい」の授業づくりのブラッシュアップを目指す。

エ 教科主任会(5教科)

2週間に1回、時間割の中で開催。教科会で話し合う内容の検討や各種研修会の報告などを行う。主幹教諭が主宰する。

オ 教科会(5教科)

1週間に1回、時間割の中で開催。学びあえる授業の質と学力の向上に向けて、単元テスト・実力テスト等を通じて学力分析や指導方法の改善を話し合う。教科主任が主宰する。

カ 夏季校内研修

学級経営、防災教育、特別支援教育、開発的生徒指導、人権教育など、総合的な教師力向上に向けて、多彩な校外講師を招いて研修を深める。

キ 県外視察研修

「学びの共同体」理論による学校づくりを行うため、先進校の授業づくりに学ぶ目的から県外校に教員を派遣する。派遣後は、適宜、職員会で成果を報告しあう。

③ 保小中連携の推進

南海中学校区保小中連携協議会(研究部会)において、校区内のすべての子どもたちの学力向上に向けた質の高い連携に取り組む。

ア 保小中合同研修会(合同授業研)

校区内で授業改善に向けての歩調を合わせ、子どもたちの学力的な課題を明確にし、保小中が協働してその解決に当たるための研修に取り組む。

イ 出前授業の企画と実施

保小中の教員・保育士の相互乗り入れによる出前授業を実施し、小1プロブレムや中1ギャップの解消に努める。

ウ 「聴く力」の向上に向けた研究と取り組み

「学びあい学習」において重要な「聴く力」を育成するために、組織的に「聴き方の約束」に関する指導に保小中で取り組むとともに、その成果を小中共通アンケート等の実施によって検証していく。

エ ボイスシャワーによる自尊感情の向上にむけた取り組み

校区の子どもが抱える「自尊感情の低さ」という課題の解決に向けて、組織的に肯定的な声かけを行うボイスシャワーに保小中で取り組む。

4. 研修計画(予定)

日程	内容	担当・学年	内容	講師	備考
4/4(月)	研修職員会	学びと心	○なぜ南海中に学びあいが必要か ～南海中の教員として大切にしたいこと～	校長 研究主任	
4月上旬	全校集会 学活	学びと心	生徒向け学びのオリエンテーション 学びあいのルール作り	研究主任	生徒
4/13(水)	研究授業 研修職員会	学びと心・3年	全校授業研・提案授業(5時間目・3年) 「学びあい学習について」		
4月中旬	研修職員会	学びと心	○転勤者向け授業づくりオリエンテーション	研究主任	
4月中旬	授業参観	学びと心	1年生による3年生授業参観		生徒
6/14(火)	公開授業研 (兼参観日)	学びと心・2年	全クラス公開(2・3・4時間目) 公開授業研(5時間目・2年)	深沢 幹彦 (元多賀中学校校長)	
6/15(水)	校内研	学びと心・1年	公開授業研 or 研修職員会	深沢 幹彦 (元多賀中学校校長)	
6月下旬	第1回 授業参観 WEEK	学びと心	教職員同士による授業参観		
8/2(火)	夏季校内研修	本部会	午前:内容未定		保小中 懇談会
8/3(水)	保小中合同研修会	保小中研究部会	午後:内容未定		
8/26(金)	夏季校内研修	本部会	日中:内容未定		
9/26(月)	全校授業研	学びと心・1年	全校授業研(5時間目・1年)	深沢 幹彦 (元多賀中学校校長)	
10/19 (水)	保小中連携	南海地区保小中 連携協議会	保小中合同研修会 ○ 授業参観(長浜小)		小中 連携
11月上旬	第2回 授業参観 WEEK	学びと心	教職員同士による授業参観		
11/25 (金)	公開授業研 (兼参観日)	学びと心・3年	全クラス公開(2・3・4時間目) 公開授業研(5時間目・3年)	深沢 幹彦 (元多賀中学校校長)	
1月下旬	第3回 授業参観 WEEK	学びと心	教職員同士による授業参観		
1/27(金)	公開授業研 (兼参観日)	学びと心・1年	全クラス公開(2・3・4時間目) 公開授業研(5時間目・1年)	深沢 幹彦 (元多賀中学校校長)	
2/22(水)	全校授業研	学びと心・2年	全校授業研(5時間目・2年)		
	研修職員会	本部会	今年度の成果と課題		